

## 総務省「G空間シティ構築事業」の採択について

北九州市を代表とする共同提案が、総務省の「G空間シティ構築事業」に採択されました。(全国の採択数：10事業) ※ 資料1「G空間シティ構築事業について」

### 1 提案の概要

本市では、平成 25 年 10 月に、(株)ゼンリンや近隣の自治体とともに、GIS（地理情報システム）及び地図のホームページ G-motty（ジモッティ）を立ち上げました。

この委託事業は、これまでの取り組みの上に、防災・減災に役立つサービスを拡充するための実証を行うものです。 ※ 別紙資料「提案の全体イメージ図」

#### (1) 住民サービス向上

- ① アンダーパスの水位センサー情報や現地調査の結果を電子地図上に表示
- ② 既存の水位・雨量情報、河川監視カメラの映像と、浸水想定区域を重ね合わせ、豪雨・洪水時向けの電子地図を作成して公開

⇒ **住民への情報提供の仕組みを充実**

- ③ ナビゲーション機能（「いのうくん」）の強化
  - ・上記の危険地域の情報をスマートフォン等のナビゲーションに反映
  - ・自動車でも使用できるように開発

⇒ **危険箇所を避けて住民を誘導できる仕組みの構築** ※ 資料2「イメージ図」

#### (2) 復旧、復興に役立つ仕組みづくり

- ④ 重要施設の長期間の停電に対応する手法を検証
  - ・持ち運び可能な電圧変換器を開発し、電気自動車の蓄電池を活用
  - ・災害時でも充電できる施設や太陽光発電のマップを作成
- ⑤ 緊急輸送道路が通行不能となった際、次の優先道路を選定するツールを作成

#### (3) 業務効率化

- ⑥ スマートフォン等を用いた現地調査業務の効率化
  - ・現地調査の際、スマートフォン等を活用してその場で状況を入力
  - ・現地調査で通行止めとした場所を地図やナビゲーションに反映

## 2 共同提案団体

代 表 : 北九州市

自 治 体 : 直方市、行橋市、香春町、苅田町

民間企業 : (株)ゼンリン、(株)ゼンリンデータコム、ESRI ジャパン(株)、(株)パスコ、(株)日立製作所

学術機関 : 兵庫県立大学、九州工業大学

民間団体 : 北九州情報サービス産業振興協会 (KIP)  
九州 IT&ITS 利活用推進協議会 (QPITS)

## 3 費用・スケジュール

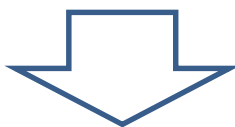
総事業費は約 3,800 万円で、全額総務省が負担します。

総務省との調整が終わり次第、開発及び実証を開始し、平成27年3月末までに事業を完了させる予定です。

## G空間シティ構築事業について

### 総務省の方針

「位置に関する情報」を情報通信技術で利活用する、つまり、電子的な地図の上に様々な情報を表示し、また、それを分析することにより、①災害に強いまちづくりに活かし、②新たな産業やサービスの創設につなげる取り組みを推進する。



総務省 平成25年度補正予算

### 「G空間シティ構築事業」

- ① 世界最先端のG空間防災モデルの確立に関する実証事業（3テーマ）
  - ② 先進的・先導的なG空間利活用モデルの確立に関する実証事業（2テーマ）
- の2つの分野（5テーマ）で事業を募集

### 北九州市の応募テーマ

- ①-c 山間部や過疎地等における豪雨・洪水の迅速把握及び情報伝達の実証事業  
【内容】近年頻発している豪雨災害やそれに伴って発生する河川の洪水等に対して、ツイッター等のソーシャルネットワーキングサービスや各種センサーの情報等を使って被害状況等を的確に把握し、位置・場所に応じて必要な情報を多様なメディアにより伝達することを可能とする防災モデルを構築する事業。



北九州市の提案

## 『災害時の「電力確保」まで想定した世界最先端のG空間防災モデルの構築』

### 【G空間とは】

G空間の「G」は「地理」を表す Geographic の頭文字。  
位置に関する情報やGPS（衛星による位置の測位）などの情報をいう。

平成26年7月18日

**平成25年度補正予算「G空間シティ構築事業」に係る委託先候補の決定**

総務省は、平成25年度補正予算「G空間シティ構築事業」に係る提案について、外部有識者による評価を踏まえて委託先候補を決定しましたので、お知らせします。

**1 事業の概要**

G空間情報のICTによる利活用を促進し、経済の成長力の底上げ及び国土の強靱化を図るため、以下の事業を総務省の委託事業として実施するものです。

- (1) 世界最先端のG空間防災モデルの確立に関する実証事業
  - (1)－a 波浪計のデータ等を利用した津波等の災害予測及び情報伝達の実証事業
  - (1)－b 都市災害時の地下街等閉鎖空間における情報伝達の実証事業
  - (1)－c 山間部や過疎地等における豪雨・洪水の迅速把握及び情報伝達の実証事業
- (2) 先進的・先導的なG空間利活用モデルの確立に関する実証事業
  - (2)－a 高精度測位やビッグデータを活用したネットワークロボットに関する実証事業
  - (2)－b 3次元地図等を利用したバリアフリーナビの実現に関する実証事業

**2 決定内容**

平成26年4月15日(火)から同年5月16日(金)まで公募を行ったところ、29件の提案がありました。今般、別紙1の構成員から構成されるG空間シティ構築事業等の評価に関する会合における評価結果を踏まえ、以下の10件を委託先候補として決定しました。各委託先候補の提案の概要は別紙2のとおりです。

**【(1)－a 波浪計のデータ等を利用した津波等の災害予測及び情報伝達の実証事業】**

	代表提案団体	事業名	実施地域
1	東北大学(災害科学国際研究所)	リアルタイム津波浸水・被害予測・災害情報配信による自治体の減災力強化の実証事業	高知県、高知市、宮城県石巻市、東松島市、静岡県静岡市
2	湘南広域都市行政協議会	レジリエントシティ湘南 ～時間や季節に応じた人的被害予測及び人やモノの位置に応じた情報伝達・制御で実現する防災モデル実証事業～	神奈川県藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町

**【(1)－b 都市災害時の地下街等閉鎖空間における情報伝達の実証事業】**

	代表提案団体	事業名	実施地域
3	立命館大学	被災に伴い制限された通信環境下における、地下空間を含む情報伝達・避難誘導支援の実現	大阪府大阪市、愛知県名古屋市、東京都

【(1)ーc 山間部や過疎地等における豪雨・洪水の迅速把握及び情報伝達の実証事業】

	代表提案団体	事業名	実施地域
4	徳島県	戦略的災害医療“G空間”プロジェクト	徳島県、美馬市
5	北九州市	災害時の「電力確保」まで想定した世界最先端のG空間防災モデルの構築	福岡県北九州市、直方市、行橋市、香春町、苅田町
6	人吉市	G空間技術を活用した地域連携型防災まちづくり実証事業	熊本県人吉市、鹿児島県伊佐市、湧水町

【(2)ーa 高精度測位やビッグデータを活用したネットワークロボットに関する実証事業】

	代表提案団体	事業名	実施地域
7	岩見沢市	高精度測位やビッグデータを活用したネットワークロボットに関する地域利活用モデル実証事業	北海道岩見沢市、秋田県大館市、鹿角市

【(2)ーb 3次元地図等を利用したバリアフリーナビの実現に関する実証事業】

	代表提案団体	事業名	実施地域
8	株式会社横須賀テレコムリサーチパーク	オープンデータによるG空間地域プラットフォーム整備事業	神奈川県横須賀市、東京都豊島区
9	公益財団法人京都高度技術研究所	多様なバリア情報のオープンデータ活用によるオープンイノベーションとシームレスな3次元バリアフリーナビゲーションによって創造する新たな観光移動スタイル革新の実証	京都府京都市、滋賀県大津市
10	久米島町	沖縄離島G空間シティ構築事業	沖縄県久米島町、石垣市、与那国町

# 危険地域回避ナビゲーションのイメージ



ナビゲーション機能「いのうくん」(現在)



本委託事業で機能開発



危険地域の回避ナビゲーションのイメージ図

## 北九州市の GIS の取り組みについて

### GIS の共同利用

北九州市では、GIS（地理情報システム）※を周辺の直方市、行橋市、香春町、苅田町と平成 25 年 10 月から共同利用しています。

GIS の共同利用だけでなく、相互に GIS の技術支援を行ったり、自治体間で共通した業務の見直しの検討なども行っています。

### 地域情報ポータルサイト「G-motty（ジモッティ）」の開設

㈱ゼンリンと KRIPP（北九州地区電子自治体推進協議会）が共同で平成 25 年 10 月に「地域情報ポータルサイト「G-motty（ジモッティ）」を構築し、地域の情報を発信しています。

G-motty では、地図を利用し、行政と民間の情報を合わせて、情報発信することができます。今後も、市民の皆様が分かりやすく、より便利な情報を発信していきます。

また、将来的に新たなサービス・産業を産むための基盤としても育てていきます。

(URL) : <http://www.g-motty.com>



### 平常時と災害時、様々な状況で使えるツールに！

東日本大震災の教訓として「平常時から使っていないものは、災害時に使えない！」をスローガンに、**住民や職員が幅広い場面で使えるツールを目指します。**

### 2014 年の SAG 賞を受賞しました！

SAG 賞は ESRI 社（GIS 世界シェア No1 のメーカー）が全世界 30 万を超えるユーザの中から、特に顕著な功績を収めたユーザに授与する国際的な賞で、日本では国内約 18,000 団体から毎年 1 つの取り組みが選定されます。

北九州市の取り組みが認められ、2014 年の SAG 賞を受賞しました。

ESRI 社プレスリリース <http://www.esri.com/news/details/60343/>

### GIS（地理情報システム）とは

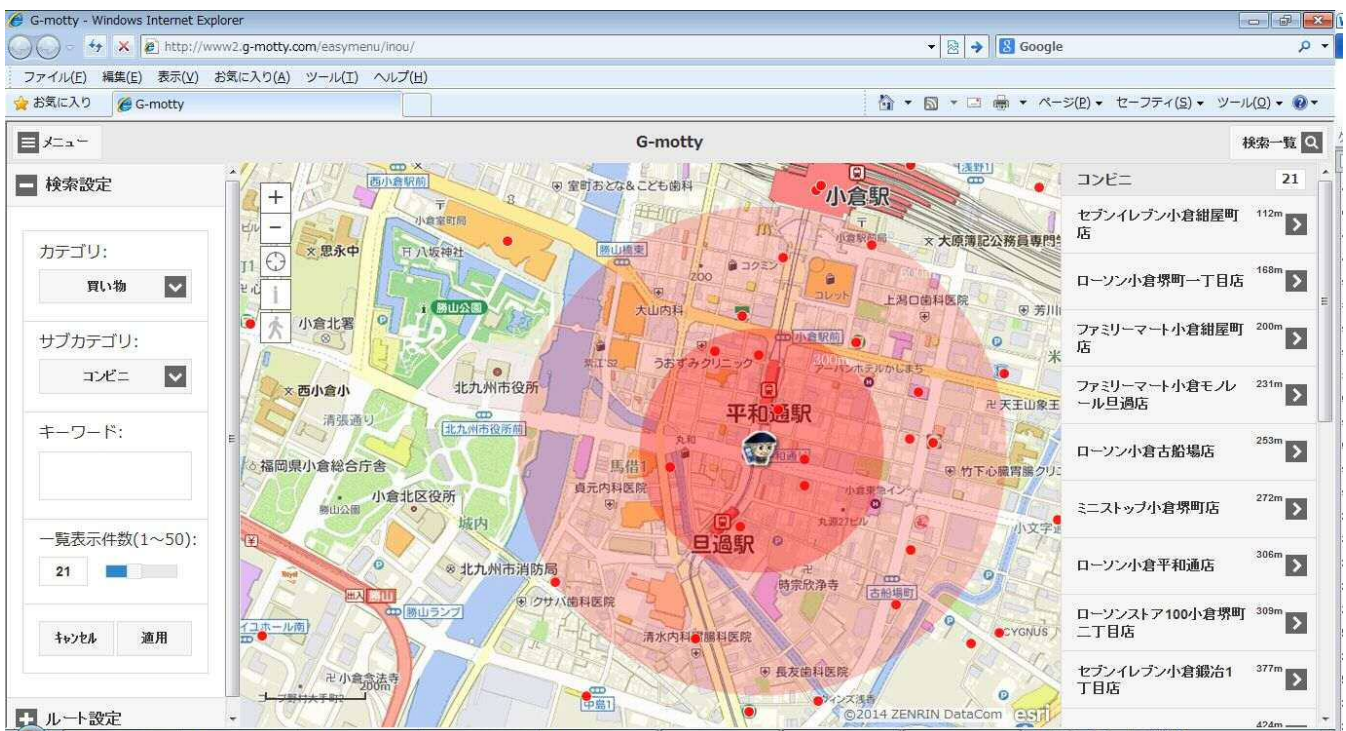
地理情報システム（Geographic Information System）の略称で、文字や数字、画像などを地図と結びつけ、位置や場所からさまざまな情報を分かりやすく表現することを可能とするコンピュータシステムであり、既に行政や民間の現場で幅広く利用されています。

(参考)

## 地図のホームページ G-motty (ジモッティ) の画面



## 地図のホームページ「G-motty (ジモッティ)」のトップ画面



## G-motty 周辺施設検索「いのうくん」【コンビニエンスストア】



# 災害時の「電力確保」まで想定した世界最先端のG空間防災モデルの構築

## 事業概要

実証フィールドで導入済みの「地理空間情報プラットフォーム」及び「北九州市クラウド」を利用し、「山間部・過疎地から都市部における豪雨・洪水」に対応したSNS・センサ等の情報をリアルタイムに収集し、各種情報伝達媒体を利用し、住民の避難を支援する情報発信・伝達を行う防災モデルを構築・実証する。さらに、系統電源を喪失した場合を想定した電気自動車を「動く蓄電池」に見立てた電力輸送システムも構築・実証する。

## 災害時の「電力確保」まで想定した世界最先端のG空間防災モデルの構築

